

無線電信法案特別委員會議事速記錄第二號

(一七)

大正四年六月一日(火曜日)午前十時十七分開會
○委員長(伯爵奥平昌恭君) テハ昨日ニ續キマシテ是ヨリ委員會ヲ開キマス、昨日ハ逐條ニ瓦ツテノ政府委員カラノ御説明ヲ得マシタ、今日ハ此逐條デナク、大體ニ付テノ御質問又御説明ヲ求メラレルナラ其レヲ願ヒタイト思ヒマス
○藤田四郎君 此外國船ノ事ニ付テモウ一度伺ッテ置キタイト思ヒマスルノハ、詰リ十分法文ヲ研究シ能ハヌ爲ニ斯ウ云フ質問ガ出ルノグラウト思ヒマスガ、外國船ノ右ノ法案等其他ノ關係カラ、或ハ其無線電信ノ使用ヲ禁ズルトカ或ハ制限スルトカ、封印ヲスルトカ云フコトニ止マルノデ、其他外國船が使用シテ居ル機械ノ設備ニ付テモ制限ハ無イノデセウカ、即チ内國法デ内國ノ物ニ對シテノ取締ノ如キ、サウ云フコトハ外國人ニ對シテハ致サヌノデセウカ

○政府委員(田中次郎君) 其機械等ニ付キマシテハ制限ハシナイ積リデゴザイマス
○男爵有地品之允君 今ノ御序ニ外國船ニ對スルコトデ 我國ノ領海トカ、或ハドコトカ云フヤウナ區域ガアルノデスカ

○政府委員(田邊治通君) 左様デゴザイマス、詰リ外國ノヤツヲ制限シマスルノハ我領海内デゴザイマス

○藤田四郎君 フレカラ先日御伺ヒシタ第三條ノ無線電信ノ通信ニ從事スルト云フ者ハ矢張リ皆ナクテ差支ナ、ナイ方ガ宜イト云フ御考デスカ
○政府委員(田中次郎君) 電信ノ從事者ノ資格ニ關シマシテハ、御注意モアリマシテ段々研究イタシテ見マシタガ、外ノ權衡其他施設者ノ方カラ考ヘマシテ見テモ、極ク簡單ナ仕事デ一日カ一日カ慣レ、バ行ケル見込デモアリマスカラ、却テ資格者ノ制限等ハ付ケナイ方ガ穩當デハナカト考ヘテ居リマス、先キノ處罰ニ關シマスコトハ單純ニ機械ニ掛カジテ居ル人バカリデアリマセヌデ、配達人ニシマシテモ、受付ニシマシテモ色々關聯シタ廣イ範圍ニナッテ居リマスカラ、此通信ノ機械ヲ主トシテ扱フ方ノ側ノ資格ト云フ意味ニ於テハ必要ハナカラウト思ヒマス

○藤田四郎君 繽イテモウ一ツ、此無線電話ノコトニ付イテハ昨日來政府委員ノ御話ヲ承リマスト、先づ外國ニ殆ド何等ノ規定モナシ、又殆ド發達ト云フモノハナイラシヤウニ見エマス、然ルニ幸ニシテ日本ニ於テハ斯ウ云フ巨大ナル發明ヲ致シテ、遂ニ幾分カソレヲ實行スルヤウナ形ニナリ掛カジテ來タノデ、即チ電信電話ノ國有ト云フ精神カラ、併セテサウ云フ方針ヲ執ツテ行ク、法律ノ中ニ無線電線ト併セテ無線電話モ置クコトニナッタヤウニモ承リマス、未ダ外國ニモ此法律トカ云フ難カシイ條例ノ中ニ入レズ、獎勵ノ爲ニ輕便ナル方法デ一層進メル爲ニ於テハ或ハ斯ウ云フ難カシイ條例ノ中ニ入レズ、獎勵ノ爲ニ輕便ナル方法デ

於テモ行ハレテ居ルヤウニモ承知シテ居リマス、日本ニ於キマシテハ幸ニ、昨今之ヲ實地ニ適用イタシマスヤウニナリマシタ、今後續々無線電話デヤリタイト云フ者モ出テ參リマス、又無線電話ト申シマシテモ公衆ガ、何レノ人が行シテモ話が出来ルカト云フコトハ多ス、唯今ノ學術ノ研究ノ爲ニ自由ニシテ置イタ方が宜イト云フ御考ハ御尤モノ次第コトナリマス、唯今ノ學術ノ研究ノ爲ニ自由ニシテ置イタ方が宜イト云フ御考デアリマスシ、又無線電話ニ致シマシテモ、十分ニ學術ノ研究ニ付キマシテハ出來ルダケ自由ノ範圍ニ置テ研究サセルヤウニ致シタ、ソレデ第二條ノ第五項ニ於キマシテドコニ無線電信ガアルカ、無線電話ガアルカト云フコトヲ政府デ調ベテ置キ、研究ニ付キマシテハ成ダケ自由ノ方針ヲ執ツテヤラシタ、斯フ云フ考テ居リマスカラ、此際無線電話ヲ除キマスト云フコトハ如何デアラウカト思ヒマス、又タ世界ニ對シテハ、日本ノ無線電話ハ斯ク程マデニ進歩シテ居ルト云フコトハ一面法制ノ上カラモ能ク分ルヤウニナリマスシ、一面ニハドウ云フ所ニアルト云フヤウナコトハ政府トシテモ取締上矢張リ承知シテ置クコトハ必要グラウト思ヒマスカラ、此規則ニ包含シテ置キマシテモ研究スル上ニハ差支ナイト云フ考テアリマス

○藤田四郎君 此法文ニハゴザイマセヌノデゴザイマスガ、昨日來遞信大臣若クハ政府委員ノ御方カラ承リマスルト英吉利ニ於テハ未ダ實行ハ致シテ居リマセヌケレドモガ、船二於テ五十人以上ヲ載セテ行ク所ノ者ハ必ス無線電信ヲ設備スルノ必要ガアルト云フ規定ニナッテ居リマセヌガ、既ニ昨年ノ法律定メラレテ、遠カラズ之ヲ行フト云フコトニナッテ居リマス、英吉利ノ殖民地ニ於テハ既ニ兩三月ノ中ニハ必ス行ハレル、七月カラ行フト云フ最初ノ豫定デアツタト云フコトデゴザイマスカラ、遠カラズ行ハレルコトニナラウト思ヒマス、既ニサウ云フヤウニナリマスレバ、我國ノ船舶ガアチラヘ寄港シマスル以上ハ必ず其設備ヲ必要トスルノデス、ソレハ我等モ切ニ望ム所デアリマスガ、顧ミテ既ニサウ云フヤウナコトニナッテ來マスルト、アチラカラ來ル船ニ付イテモ自カラサウ云フヤウナ規定モ自然獎勵スルヤウナコトニナル、獎勵ハ宜シイガ、其結果内地沿岸ノ乗客ヲ載セテ行ク所ノ隨分小ツボケナ百噸位ナ船デモ、五十人トカ六十人トカ或ハ三百人モ乗セテ引クリ覆シタト云フノモアルノデ、サウ云フ所カラ行ケバ、尙必要カ知レマセヌケレドモ、實際ノ營業上困難ヲ生ズルコト思ヒマスカラ、ソコラノ斟酌ニ付イテハ餘程注意ヲ拂ハレンコトヲ望ムノデ、無論サウ云フ考ハゴザイマセウガ、一應伺ツテ置キマス

○政府委員(田中次郎君) 英吉利ノ方面ハ唯今藤田サンノ御話ノ通りゴザイマスが、是モ早晚實行セラレルノデ、日本カラノ方面ニ參リマス船デ五十人以上ノ人ヲ乗セル船ハ總テ付ケナケレバナルマイト思ヒマス、繼ツテ日本ノ方面ニ於キマシテハ實ヘ海上生命保全ト云フ、所謂無線電信ノ強制ヲシャウト云フ會議が一昨年倫敦デ開カレマシタ、其當時日本カラハ傍聽ノ爲ニ委員ガ一名出タケデ、傍聽シタト云丈アリマシテ、併ナガラ學術ノ研究ハ隨分行ハレアモ居ルシ、又實際ノ成績モ相當ニ海軍等ニ

其協約ニ加盟シテ居リマセヌカラ、必シモ強制法ヲ行ハナケレバナラムト云フ、義務ハアリマセヌ、又本法ヲ執行スルヤウニナリマシテモ、唯私設ヲ許ス範圍ヲ明ニシヤウト云フノガ主眼ニアリマスカラ、船舶ニ無線電信ヲ付ケナケレバナラムト云フ方ノ意味ハ少シモ入シテ居リマセヌニアリマスカラ、唯今ノ御懸念ハ當分問題ニナルト云フコトハナカラウト考ヘテ居リマス、併シ時勢ニ進歩デ早晚サウ云フ時代モ參ルカ知レマセヌガ、是ハ自カラ船舶ノ設備ノ問題ニアリマシテ、何レ船舶法カ何カサウ云フ問題ハ除ロニ改正セラルベキ問題ニアラウト考ヘテ居リマス

○男爵有地品之允君 今ノ御答辯ニ中ニモ船舶ト云フ御言葉ガアルヤウデス、此法案ニハ船舶ト云フコトガ澤山アルヤウデスガ、船舶ト名ノ付クモノハ大小總て含シテ居ルモノデスカ、何カ區分ニモアルノニアリマスカ

○機部四郎君 チヨット十三條ト十六條ヲ御覽フ願ヒタイノゴザイマス、此十二條ノ方ハ是ハ主務大臣ガ例ヘバ不法ノ無線電信又ハ無線電話ト云フモノヲ施設スルモノニ對スル行政處分ニアリマセウネ

○政府委員(田中次郎君) サウデス

○機部四郎君 ソコテ此船ト云フモノ、中ニハ、矢張リ許可ナクシテ無線電信若クハ無線電話ヲ施設シタモノモ籠ルニアリマセウシ、又許可ヲ得テ居テモ不都合ナコトヲヤッタモノハ此十二條ノ中ニ這入ルト云フ意味ニアリマセウカ、ソコヲチヨット伺ヒタイ、ソレヲ伺ツタ上デドウ云フ不審が起ルカト云ヘバ、十三條ニ對スル司法處分カ何カ別段ニアリマスルカ、或ハ十六條等デ補フトスルト、許可ガアッテモ條件通リヤラナカッタモノハ司法裁判所ノ制裁ト云フモノハ別ニナイモノニアリマスカト云フコトヲ伺ヒタインデス、十三條ニ付イテハ……ソレカラ十六條ニ付キマシテハ是ハツニナシテ居リマスガ、無線電信若クハ無線電話ヲ施設シタモノノ罰スルノト、ソレカラ自分ガ施設シタモノデナクテモ、許可ナクシテ施設シタモノノ罰スルノト、ソレカラ十二條ト云フノハ不法ニ無線……不法ト云フ文字ノ中ニハ矢張リ十六條ニ當ルモノモ籠ルシ、唯ダ許可ハ得テ居ルケレドモ三條ノ條件ヲ具備シナカッタモノハ行政處分ダケニ止メテ置ク、斯ウ云フ譯ナスカ

○政府委員(田邊治通君) 左様ゴザイマス

○機部四郎君 サウスルト詰リ何ゴザイマスナ、十六條ノ中ニハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ト云フモノガアルカラ、ソレデ斟酌シテ使用スルノ目的ヲ以テ許可シナイノニ無線電信ヲ施設シテ、尙ホ之ヲ使用シタモノモ、ソレカラ人ノ施設シタモノヲ唯一回ナラ一回使用シタモノモ同シク此範圍ニ於テ斟酌シテ行クト、斯ウ云フ譯ナスカ

○政府委員(田邊治通君) 左様ゴザイマス

○藤田四郎君 六條ノ私設ノモノヲ公衆又ハ軍事上使ヒマス時ハ相當ノ賠償又ハ電報料ヲ取ルト云フコトガアルノゴザイマセウカ、是ハ一向書キマセヌテ差支ヘゴザイマセヌカカッタモノハ行政處分ダケニ止メテ置ク、斯ウ云フ譯ナスカ

○政府委員(田中次郎君) 御話ノ通り、命令テソレ等ノ手數取扱費ヲ遣ルコトヲ書ク積リアリマス

○藤田四郎君 「命令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フダケテ賠償ノコトモ皆這入ルノゴザイマスカ

○政府委員(田中次郎君) サウデゴザイマス、電信法モ皆サウ云フ風ニナシテ居リマス無線電話ヲ施設シタ者ト云フ中ニハ、詰リ許可ナクシテヤリマシタモノト、ソレカラ第三條ノ所謂制限ニ違反シテ、例ヘバ「キロワット」ノ動力テ設備シタ、斯ウ云フモノガ若シ「キロワット」ヲ用井テ設備シマスレバソレモ矢張リ這入リマス、ソレカラ十六條ノ方ノ許可ナクシテト云フノハ詰リ十二條ノ中、不法ノ中、許可ノナイヤツダケニアリマシテ、從テ其制裁

ニ於キマシテモ第十六條ノ方ハ、許可ナクシテ無線電信又ハ無線電話ヲ施設シタモノヲ罰シマシテ、ソレカラ第十二條ノ中、不法ノ中、許可ナクシテニアラザル、詰リ條件ニ違反シタモノ、サウ云フモノハ司法上ノ處分ハアリマセヌデゴザイマス、ソレハ詰リ二條ニ依リテイロ、ノ制限ヲ付シ得ル譯ニナシテ居リマスノデ、ソレニ違反シタモノニ是ハ六條ノヤウナ制裁ト云フコトハ詰リ命令テ何モカデモ決メ得テ、ソレニ違反シタモノハ皆重イ制裁ガ來ルト云フ、餘リ命令ニ各種ノ刑罰ヲ付スルト云フコトニナシテハ結果が面白クナイト云フノデ、許可ヲ得テ條件ニ違反シテ造リマシタモノハ許可ヲ取消シテ、更ニツレニ應シナカシタ場合ニハ第十七條、第十八條ノ罪ヲ被セマスルガ、先ツ許可ヲ取消シテソレデ足リテ居ルデハナイカト云フ考、ソレカラ次ノ十六條ノ中、許可ヲ得ズシテ施設シタ者、是ハ詰リ許可ヲ得ズシテ施設ト云ヒマスルモノハ、使用ノ目的ヲ以テ無線電信、電話ノ器械ヲ設置スルト云フ意味テ施設ト書キマシタノデスガ、其モノガ更ニ一步進ンテ使用シタト云フ場合ニハ、使用スル目的マデ其行爲ガ進ンダモノデアル、所謂數行爲ガ一緒ニ合マレタト云フ、アノ刑法ノ精神ヲ持ツテ來マシテ、素ト使用スル意志デ造ツタモノガ、更ニ一步ヲ進ンテ使用セザリシ場合ハ矢張リ十六條ノ前段テ處分シヤウ、斯ウ云フ立前ニナシテ居リマス

○藤田四郎君 尚ホ私ハ機部君ノ御尋ネノコトニ付テモウ少シ確メテ置キタイト思ヒマスガ、十六條ノ場合ノヤウナ工合ニ、是ハ必ズ施設シテ使用シタモノデナケレバ罰セヌ、唯施設デハ罰セヌト云フ趣意デハナイカト思ヒマスガ、ソレデ宜ノデスカ

○政府委員(田邊治通君) 是ハ十六條ノ許可ガナクシテ施設シタモノト云フ意味ハ、使ヒマセヌデモ使用ノ意思ヲ以テ無線電信電話ノ機械ヲ設置シタモノハ直ニ矢張リ本條ニ這入リマシテ、尙一步進ンテ其モノ同ジ人間ガ使ヒマシテモ、先程機部サンノ質問ノヤウニ一步進ンテ使ヒマシテモ、矢張リソレハ使用ノ意思ヲ以テ造ツタモノガ目的ヲ達シタト云フノニ過ギマセヌノデ、等シク本條ニ依シテ處罰スルト云フ定メニナツテ居リマス

○藤田四郎君 サウスルト此施設シタケデモ罰スルト云フヤウニナリマスト、不法ト云フノハ惡意ガアツタモノニアリマスカラ……十二條ノ不法ト云フ字ヲ付ケタコトニナリマスカラ、或不法ニト存ジマスガ、許可ヲ得テ居シテモ不法ト云フ字ヲ付ケタコトニナリマスカラ、或不法ニ付シハ注意ヲ與ヘルガ施設ヲ直セバ濟ミ得ルノニアリマスガ、既ニ不法トアリマスル以上ハ必ズ惡意ガ伴シテ居リマスカラ、是レハ十二條ニアル不法ニ付テハ相當ノ罰例ヲ設クル必要ガアルト思ヒマス

○政府委員(田邊治通君) 十二條ニアル不法ト云フノハ詰リ許可ナクシテヤリマシタモノ……

〔藤田四郎君「許可ヲ得テ居リマス」ト述フ〕

許可ヲ得テ居ルデハアリマセヌ、即チ許可ヲ得ル場合ニ電力ノ制限トカ其他各種ノ制限ヲ付スル譯デアリマスガ、ソレニ違反シマシタ場合ニハ惡意ガアリマス譯デアリマス、ソレニハ悉ク制裁ヲ付スルト云フコトニナリマス、詰リ第二條ニ戻リマシテ命令デ各種ノ制限ヲ付シ得ル譯デアリマス、其命令ハドンナモノカト云フト、直チニ第十六條ノ如キ形式ヲ帶ビナケレバナラヌ、命令ハ餘リ廣クテ罰則ヲ付スル嫌ヒガアルト云フノデ、ソレデ此行政處分テ取消スト云フコトデ満足シナケレバ仕方ガアルマイト云フノテ其事ヲ省キマシタ

○機部四郎君 十六條ハ御説明ヲ得テ分リマシタガ、十六條ダケデハ、ドウシテモ無線電信、無線電話ヲ許可ナクシテ施設シテ……之ヲ使用シタルモノト云フモノガ拔ケテ居ルヤウニ見ユルデスナ、施設シタケデモ此罰ガアル、ソレカラ又施設シタケデモ此罰ガアルデスカラ、施設シテ使用シタルノヲ處罰スル條文ガ見エナイノハドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(田中次郎君) 御疑ヒハ御尤モデゴザイマスガ、此十六條ハ許可ナクシテ施設シタモノデモ罰セラレル、況シヤ施設シテワレロ使用スルモノハ尙ホ罰セナケレバナラヌ、斯ウ云フ譯デアリマスカラシテ、施設シテ……今政府委員ガ御答イタシマシタヤウニ、使用スルモノハ、是ハ施設シタケデモ罰スルノデ、況シヤシテ施設シテ尙ホ使用スル場合ノ如キハ、勿論罰スルノデアルト云フ考デ、法文トシテ掲ゲヌデモ明瞭デアラウト考ヘマシテ……

○機部四郎君 ソコテ私ノ案ヲ提出シタイノデ、斯ウ云フコトハ出來ナイデセウカ、施設シテ尙ホ使用シタモノト、一ツニナルノアリマスカラ、ソコデ一等ヲ加ヘルト云フヤウナコトヲツ加ヘテ置カヌト、單ニ施設シタモノダケデモ矢張リ此一年以下ノ懲役ニ處シ千圓以下ノ罰金ニ處スルコトが出來ルデスカラ、施設シタバカリデナク、使用シタモノハ拔ケル

○藤田四郎君 尚ホ機部君ノ御尋ネノコトニ付テモウ少シ確メテ置キタイト思ヒマス、若シ施設シテ自カラ使用シタ時ニハ情ガ餘ホド重クナリマス、其場合ハスカ、十六條ノ場合ノヤウナ工合ニ、是ハ必ズ施設シテ使用シタモノデナケレバ罰セヌ、特ニ但書カ何カニシテ置イテ、本件ニ一等ヲ加ヘルヤウナコトヲ設ケテ置ク必要ハナカラウカ、其案ヲチヨット御相談シテ見タイト、斯ウ云フノアリマス

○政府委員(田中次郎君) 御尤モノ御注意デゴザイマス、實ハ此施設シテ尙ホ使用シタ場合ハモウ丁度一年以下ノ懲役、又ハ千圓以下ノ罰金ニ當テテ宜カラウ、本件ハ刑法ノ關係カラ考ヘマシタノデ、寧ロ其施設シタケノモノハ此範圍内ニ這入ル積リテ居リマシタガ……

○機部四郎君 唯私ノ氣付キダケヲ……

○政府委員(田中次郎君) 御注意ハ御尤モデ……

○藤田四郎君 十一條ノ此場合デゴザイマスガ「外國船舶ニ施設シタル」ト云フ此場合ハ如何ニナルノゴザイマスカ、日本ノ船ガ外ニ居リマスレバ矢張リ電信ヲ出スコトガアリマセウガ、サウ云フ場合ハドノ條ニ當リマスカ

○政府委員(田中次郎君) 領水以内ニ於ケル外國船ハ矢張リ同ジク遭難通信ヲ同時ニ受ケナケレバナラヌ義務付キデ、唯今ノ御話ノヤウナ日本船舶モ亦日本ノ領海外ニ在テモ無論日本ノ法律ニ從ハナケレバナリマセス……

〔藤田四郎君「其モノハドノ條ニ當リマス」ト述フ〕

是ハ領水ノ内外ニ依シテ居ル譯デアリマセス、當然此法律ノ適用ヲ受ケマス

○藤田四郎君 ドノ條ニ當リマス、此場合ハ……

○政府委員(田邊治通君) チヨット今ノ日本ノ船ニ造リマスレバ……官設局デアリマスレバ是ハ無論問題ニナリマセヌ、私設ノ無線電信ナラバ十一條ノ前段、即公海デアリマシテモ矢張リ日本ノ私設ノ無線電信、電話ト云フモノデ矢張リ受ケナケレバナラヌ、本條デ責任ヲ付ケタ譯デアリマス

○藤田四郎君 船ノモ這入シテ居リマスカ

○政府委員(田邊治通君) 左様デゴザイマス

○機部四郎君 チヨット文字タケノコトデゴザイマスガ、此十六條ノ「許可ヲ取消サレタル後」ト云フ下ニ「私設ノ」ト云フ二字這入リマスノハ、是ハドウ云フ必要ガアリマス、十六條ハ許可ヲ取消サレタル後、其次ニ此所ニ始メテ本條中ノ「私設ノ」ト云フ文字ガアリマスガ、是ハ何カ特ニ必要ガアリマスカ

○政府委員(田中次郎君) 許可ヲ取消サレタル後、或ハ私設デナク不法ノモノトナツタト云フ方が穩當ノヤウニ聞エマスガ、是ハマア一層分リ易ク實ハ書イタ意味デアリマス、十巴ナタノ方カラ取消シテ戴クト極ク平易ニナルヤウデアリマス

○政府委員(田邊治通君) 是ハ實ハ申上ゲマスガ斯ウ云フ譯デアリマス、免ニ角取消シテシタル後私設ノ無線電信無線電話ヲ使用シタルモノト云ヒマスノハ、若シ茲ニ「私設ノ」ト云フ三字ガアリマセヌト、許可ヲ取消サレタル後、無線電信電話ヲ使ヒマシタルモノハ當然良ク無線電信電話ヲ使ヒマシテモ罰ニナル疑ヒガアルト云フノア、許可ヲ取消サレタル後無線電信ヲ使ヒマシタラ其モノハ一生無線電信ヲ使フコトガ出來ヌ、其私設ノ取消サレタル後ハ無線電信電話ヲ使シテハイケナイ……

○機部四郎君 サウシタラスウナリマスカ、許可ヲ取消サレタル無線電信電話ヲ使用シタルモノトシタラバ、分リ易クハアリマセヌカ

○政府委員(田邊治通君) 全ク其意味デアリマス

○委員長(伯爵奥平昌恭君) 混亂シテ速記ニ因リマスカラ……

○機部四郎君 分リマシタ、私ハソレテハ一ツ修正案ヲ提出シタトイタコト思ヒマスノデ、今タル後ハドノ無線電信電話モ使フコトハ出來ナイト云フヤウナ心持ガ致シマスノデ、ソレデ取消サレ御説明ヲ伺ヒマシタ大キニ了解イタシマシタケレドモ、チヨット讀ミマスト、此十六條中ニ

「私設」ト云フ文字ガアル爲ニ却ツテ疑ラ起スヤウナ心持ガ致シマスノデ、ソレデ取消サレラバ其疑ヒガ解ケヤウト考ヘマスノデ、成ラウナラバ、御差支ガナケレバ「後私設」ト云フ四字ダケ削除シテ戴キタイ、斯ウ云フ考デアリマス、ソレナラバチヨット間違ヒガナイヤウデアリマスガ……

○此「許可ヲ取消サレタル無線電信電話ヲ使用シタルモノハ」ト云フコトニナリマシタナラバ其許可ヲ取消サレタル無線電信電話ヲ使フコトニナリマスカト云フコトヲ……

○政府委員(田邊治通君) チヨット斯ウ云フ譯ニサウスルト機部サンノ御話ニナリマス譯デアリマスナ、「許可ヲ取消サレタ無線電信電話ヲ」ト斯ウナリマスノデアリマスナ、此「許可ヲ取消サレタル私設」ヲ實ハ入レマシタノハ許可ヲ取消サレタル私設ノト云フ意味デ、有ツダ方ガハキリ分リハシナイカト云フノテ入レマシタガ、私設ハ元許可ヲ得アヤツクノデ、其元許可ヲ得タ無線電信無線電話ヲ使フテハイケナイ、斯ウ云フ意味デ……

○機部四郎君 許可ヲ取消サレタル其トヤッテハ如何デスカ、サウシタラ却ツテ分リ易クハアリマセヌカ

○藤田四郎君 前ノ方ノ文ニ私設ト云フ字ヲ入レマセヌノハドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(田邊治通君) 是ハ書き分ケマシタノデアリマスガ、許可ヲ得マセヌ場合ハ私設ト云フモノハ成立タヌ、ソレハ私設ト云フ字ヲ特ニ除キマシタ、元私設ヲ許シマシタガ其許可ヲ取消サレタ後ニ其無線電信無線電話……

○藤田四郎君 サウスルト官設ノハドウナリマスカ、官設デハイカヌカラ使フナト命ジテ置クノデスカ、長官ガ……ソレヲ使ツタ場合ハドウナリマスカ

○政府委員(田邊治通君) 其場合ハ閉鎖シテ仕舞ヒマス

○藤田四郎君 イカヌト極メテモ壞シテ仕舞ハヌ以上ハ……

○政府委員(田中次郎君) ソレハ刑法ノ規定デ官物ヲ濫リニ傷害スルト云フ場合デス

○藤田四郎君 其釣合ハドウナリマスカ、刑法ノ方ハドウ云フ罰ニナリマスカ

○政府委員(田中次郎君) ソレハ外ノ場合ト是ト權衡ヲ失スル虞レハナイコトデアリマス、其爲ニ通信ヲ障礙スレバ通信障碍罪ニナリマス、刑法ノ一般規定ニ基イテ適當デアラウト思ヒマス

○委員長(伯爵奥平昌恭君) モウ御質問ハゴザイマセヌカ

○藤田四郎君 モウ一ツ伺テ置キマスガ、是ハ外國ノ方ノモ皆コラガ處分スルト云

フ方針ニナツテ居リマスカ、近來ハ外國ノ場合ハ皆サウ云フ方針ニナツテ居リマスカ

○政府委員(田中次郎君) 外國デモ其外ノ國カラ來タ船舶ニ對スル場合ニハ……

○藤田四郎君 詰リ申シマスレバ佛蘭西ノ如キハ餘り罰セヌ方針、外國ノ船舶が領水内ニ來テモ其中ノ犯罪ハ餘り關係セヌ方針ニナツテ居リマスガ、大體サウ云フヤウナ法律デゴザイマセウケレドモ、日本ニ於テハ斯フ云フ法律ヲ立アル、其方針ハ各國ノ近今ノ例ハドウ云フコトニナツテ居リマスカト云フコトヲ……

○政府委員(田中次郎君) 大概各國デモ一般ニサウ云フ風ニナツテ居リマス、陸海軍ハ最モ希望シテ居ルヤウデアリマス

○政府委員(田邊治通君) 此間差上ゲマシタコレニアリマス亞米利加合衆國、英吉利、伊太利、濠洲聯邦、加奈陀、丁抹、瑞典、獨逸、諾威、塊地利、皆領海内ノモノヲバ罰シテ居リマス

○藤田四郎君 佛蘭西ハ無イト思ヒマシタ、ソレヲ御尋ネ致シマシタ

○委員長(伯爵奥平昌恭君) モウ御質問ハゴザイマセヌカ……チヨット私ハ御質問ヲ致シテ見タイノデス、何レ命令デ決マルセウガ氣象通信ノコトデアリマスガ、是ハ「私設ノ無線電信及電話ハ其ノ施設ノ目的以外ニ使用スルコトヲ得ス」但シ斯ウ云フモノニ付イテハ宜シト云フコトニナツテ居ル、此氣象通信ト云フコトニ付イテハ此氣象卽チ

○政府委員(田中次郎君) 氣象通信ニ關シテ國際條約ニモアリマシテ、船舶ナドハ殊ニ隨分遠距離ニ參リマスカラ地方ノニ依ツテ緯度經度等ニ依ツテ氣象ノ報告ヲ得ルノガ便利デアルト云フ考カラ、萬國條約デモ規定シテ居リマス、日本ニ於キマシテモ總航路ノ方面ニ依リ又地點ニ依ツテ氣象通信ヲヤルヤウニシタトイト考ヘテ居リマス

○委員長(伯爵奥平昌恭君) サウ致シマスルト今日官設ノ無線電信ヲ設置シテ居他ニ、ア、云フ場合ニ特ニ願出テ、私設ノ無線電信ヲ施設シタ其地點ニ於テドウシテモ氣象ノ觀測ヲスル必要ガアル場合ニハ、施設者ニ義務ヲ負擔サセルノデナクシテ、他日矢張リ官設ノ測候所ヲ置クヤウナコトニナルノデゴザイマスカ

○政府委員(田中次郎君) 氣象觀測ニ關シマシテハ是ハ中央氣象臺トノ關係ガアリマスノデ、報告シ得ル材料ガアレバ之ニ依テ報告シテ差支ナイト云フ風ノ考ダケ有ツテ居ル所ニ依ルト云フコトニナツテ、三條四條ト六條ト九條モ含マシテ居ルヤウデゴザイマス、

是ハ大體先づ色ニ取締トカ色ニコトガゴザイマスデセウガ、此範圍ガ極マッテ居ルモノデゴザイマセウガ、御分リニナツテ居リマスカ

○政府委員(田中次郎君) 第二條アタリニ書キマシタノハ是ハ總テ手續並ニ解釋等側カラ規定イタシマシタ

○委員長(伯爵奥平昌恭君) ソレカラモウ一ツ御尋ネシテ置キタイ、多ク命令ニ定ム

ル所ニ依ルト云フコトニナツテ、三條四條ト六條ト九條モ含マシテ居ルヤウデゴザイマス、

是ハ大體先づ色ニ取締トカ色ニコトガゴザイマスデセウガ、此範圍ガ極マッテ居ルモノデゴザイマセウガ、御分リニナツテ居リマスカ

○政府委員(田中次郎君) 第二條アタリニ書キマシタノハ是ハ總テ手續並ニ解釋等ニ關係シマシテ省令ヲ以テ極メタイト云フ考デアリマシテ、今日既ニ電信法ニ伴イマシテ

私設電信規則ト云フモノガ二十條ヨリ成ツテ居ル規則ガアリマシテ、ソレハ出願手續、

文書ノ經由、或ハ廢止、一時中止、譲渡、相續等ノコトモ色ニ細カク書イテゴザイマス、工事ヲスル場合ノ居出トカ、或ハ工事變更ノ場合、落成ノ場合ニドウセヨトカ、更ニ船舶ニシマシテモ繫キ放シニナツテ居ル定繫シタ船舶ハドウアルトカ、或ハ第六號ニ云ツテ居ル場合ハ主トシテ航空機ニ限ルトカ、サウ云フノヲ規則ヲ設ケマシテ大體書ク積リテ考ヘテ居リマス、第一條ノ方ハソレカラ次ノ第三條ニ機械裝置及運用ニ關スル制限、竝ニ從事者ノ資格ニ關スルモノハ命令デ以テ定メル積デアリマス、是ハ大體小規模ノ船舶デ又航路モ短カケレバ、サウ遠距離ニ居カケテモ、五十哩トカ百哩ニ通達スル機械デ宜シ、從フテ電力モ半「キロワット」デ宜シト云フコトニシ、或ハ遠洋航路ニ從事ヘルモノ、或ハ近海航路ニ從事スルモノハ自カラ航路ニ依ツテ「キロワット」或ハ「キロワット」デ電波上ノ制限ヲシマス、從ツテ小規模ノモノニ從事スル者ハ極ク簡単ナ通信ガ出來レバ其資格ヲ與ヘル、少シ近海ニ行ク者ハ少シ進歩シタル技術ヲ心得テ、機械ノ取扱ヲ心得タ者デナケレバナラヌ、公衆通信ヲ扱フ遠洋航路ニ乗ルニハ第一級ノ資格ヲ有ツタ者デナケレバナラヌ、是ハ國際通信法規モ心得ナケレバナラヌ、内國ノ電信ノ取扱モ心得ナケレバナラヌ、歐文モ出來ナケレバイカヌ、サウ云フコトモ書キマス積リテゴザイマス、又此機械ニシマシテモ必シモ内國ノ機械ノミデ無クトモ、今日ハ日進月歩ノ際ニアリマスカラ外國ノ優良ナル機械ヲ据付ケテモ差支ナシ、又研究ノ爲ニハ益々サウ云フモノハ獎勵シテ行クヤウニシタイト云フ考ヘテ、或程度マテハ制限ヲシマス積リテアリマスガ、ソレ等ノ點ハ其時ノ次第ニ依リマシテ相當ニ運用ニ差支ナイヤウニシテ行キタイト云フ考ヘテゴザイマス、ソレカラ次ニ第四條ニ命令ノ定ムル所ニ依ツテ氣象通信、遭難通信、報時通信ヲヤル、其遭難通信ナドノ範圍ニ致シマシテモ、是ハ國際條約業務規則等ニ大體規定ガ出テ居リマスカラ、ソレ等ヲ參酌シマシテ、遭難通信ハ遭難呼出しシノ船舶ヨリ出ス通信、竝ニ是ニ直接伴フ所ノ通信ト云フヤウナ風ニ定メタイ考ヘテゴザイマス、既ニ救助ガ濟ンダニ拘ハラズ、救助後ノ跡始末ノ電報ヲ遭難通信ト見ルノハ無理ニアラウト云フ考ヘカラ、ソレ等ハ遭難直接ノ通信ニ限ル、氣象報告ニ致シマシテモ地方カラ其氣象ノ報告ヲ中央ニ致シマストカ、中央ヨリ地方ニ警報ヲ出シマストカ云フコトニ限リタイ、時報ハ一日ニ一回或ハ二回、今日既ニ出テ居リマス、跳子デアリマストカ、大連灣ニアリマストカ、船舶ニ一定ノ時刻ヲ正確ニ保タス必要ガアリマスカラ、無線電信ト太平洋方面ニハ午後ノ九時ニ時刻ヲ天文臺カラ知ラセテヤッテ居リマス、是等モ更ニ一定ノ規則ノ中ニ入レマシテ、今テハ内規デヤラテ居リマスガ、此法律が通過シマスレバ此規則ヲ立テマシテ一般ノ無線電信局ガ施設シアルトヲ問ハズ、正確ナル時刻ヲ取レルヤウニ規則ヲ明カニシタイ、斯ウ云フ考ヘテアリマス、ソレカラ第六條ニ「ツゴザイマス、「命令ノ定ムル所ニ依リ通信用ニ供セシムルコトヲ得」、是ハ電信法ノ第二條ト略ボ同一デアリマシテ、此電信法ニ依テハ三十二年省令五十號デ公衆通信取扱規則ト云フモノガ出テ居リマス、是ニ依リマスト電報ノ差出シノ場合ハ幾千、著信ノ場合ハ四錢アルトカ、或ハ交換通信ノ場合ハ一錢、配達ノ場合ハ同ジ四錢トカ云フヤウニ一通當リニ付イテ取扱料ヲ支給スル規則ヲ榜ヘテ居リマス、ソレハ凡ソ七條バカリカラ山來タモノデ、公衆通信取扱規則ト云フモノガアリマスカラ、大體ソレニ準據シテ公衆通信ヲ扱フ局名、位置、取扱時間、取扱電報ノ傳送順序、

發送スル順位ヲドウ云フ風ニ定メルトカ云フヤウナコトヲ命令デ書キマス積リテアリマス、大體有線電信法ニ準據シテ行キタイト考ヘマス、次ニ九條ハ本法一般ノ行政命令ニ基イテヤル、十五條ハ「命令ノ定ムル所ニ依リ無料ト爲スコトヲ得」、無料ノ規則モ大體有線電信法ノ二十二條ニ基キマシテ、電報規則ノ第三條ニモ實ハ載シテ居リマス、詰リスウ云フ種類ノモノハ局報ト名ヲ付ケテ、局ノ電報ト云フ方ノ意味デ局報ト名ヲ付ケテヤッテ居リマスノデ、局相互間ニ發着スルモノニ限ルト云フノガ原則アリマス、ソハ殆ド電信法ト同一ノ精神ニ出來テ居リマスカラ、局報取扱規則ト云フモノハ本條ニ置イテ今ノヤウナ精神デ書キタイト考ヘテ居リマス、大體有線電信ノ規則ニ準據スル積リテアリマス、大要唯今申上ダマシタ五點ヲ命令デ定メヤウトシテ居リマス

○委員長（伯爵奥平昌恭君）分リマシタ

○藤田四郎君 一寸モウ一ツ忘レマシタガ、是ハ勅令デ御定メニナリマセウガ、イツ頃御

實行ニナル御見込デゴザイマセウカ

○政府委員（田中次郎君）實行ハ本案が議會ノ協賛ヲ經マシタナラバ、成ルタケ早ク

勅令ヲ以テ施行シテ行キタイ、豫算等ニモ關係ガ格別アリマセヌノデスカラ

○男爵有地品之允君 甚ダ迂遠ナ御尋ネデスガ、施設者ト云フノハドノ位ノ範圍ノモ

ノカ、使用者ト云フノハドウ云フモノデアリマスカ、例ヘバ船デアレバ船主ガ這入ルモノカ、

船長ト云フヤウナモノガ這入リマスカ

○政府委員（田中次郎君）施設者ハ重モニ船長或ハ船主、所謂船ノ持主ノ方ガ主

眼デ使用スル人ノ方ハ……

○男爵有地品之允君 サウスルト工事ニ關係シタ技師ハ加ハラヌデスカ

○政府委員（田中次郎君）ソレハ這入リマセヌ

○男爵有地品之允君 使用者ト云フ方ハ……

○政府委員（田中次郎君）使用者ハ主トシテ技術者ガ使用イタシマス譯アスガ、船

長ガ這入ル場合モアラウト思ヒマス、船長ノ命ニ依シテヤル、船長ハ殆ド船舶内ノ最上

スカラ、無線電信ト太平洋方面ニハ午後ノ九時ニ時刻ヲ天文臺カラ知ラセテヤッテ居

リマス、是等モ更ニ一定ノ規則ノ中ニ入レマシテ、今テハ内規デヤラテ居リマスガ、此法律

が通過シマスレバ此規則ヲ立テマシテ一般ノ無線電信局ガ施設シアルトヲ問

ハズ、正確ナル時刻ヲ取レルヤウニ規則ヲ明カニシタイ、斯ウ云フ考ヘテアリマス、ソレカラ

第六條ニ「ツゴザイマス、「命令ノ定ムル所ニ依リ通信用ニ供セシムルコトヲ得」、是ハ

電信法ノ第二條ト略ボ同一デアリマシテ、此電信法ニ依テハ三十二年省令五十號デ

公衆通信取扱規則ト云フモノガ出テ居リマス、是ニ依リマスト電報ノ差出シノ場合ハ

幾千、著信ノ場合ハ四錢アルトカ、或ハ交換通信ノ場合ハ一錢、配達ノ場合ハ同ジ

四錢トカ云フヤウニ一通當リニ付イテ取扱料ヲ支給スル規則ヲ榜ヘテ居リマス、ソレハ

凡ソ七條バカリカラ山來タモノデ、公衆通信取扱規則ト云フモノガアリマスカラ、大體ソ

レニ準據シテ公衆通信ヲ扱フ局名、位置、取扱時間、取扱電報ノ傳送順序、

○機部四郎君 アリマセヌ
○委員長(伯爵奥平昌恭君) サウ致シマスト本案ニ付イテノ條文ノ修正モゴザイマセヌデスカ

(「アリマセヌ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵奥平昌恭君) 全部修正ハ無イモノト認メマス、宣シウゴザイマスカ
(「異議アリマセヌ」ト呼フ者アリ)
○委員長(伯爵奥平昌恭君) 此案全部ヲ問題ニ供シマスガ、是ニ付イテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵奥平昌恭君) サウ致シマスト全部可決シタモノト認メマス
午前十一時九分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵奥平 昌恭君 副委員長 男爵有地品之允君

委員

侯爵中御門 經恭君 男爵肝付 兼行君 藤田 四郎君

政府委員

遞信次官 湯河 元臣君 遷信省通信局長 田中 次郎君
遞信省電氣局長 棚居喜九馬君 遷信書記官 田邊 治通君

機部 四郎君